

## 平成26年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	3. 民生費	大事業	2. 学童保育所管理運営事業
項	3. 児童福祉費	中事業	
目	6. 児童センター費	担当所属	子育て支援課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		第1章	「思いやりと希望にみちたまちづくり」～保健・福祉の充実、子育て・子育て環境の充実～	5年間計画額	-
経常	補助	計画	0	0	168,043	実施計画	基本施策4	安心して子どもを産み育て、子育てしやすいまちにします	平成23年度	-
									平成24年度	-
									平成25年度	-
								施策2	放課後児童健全育成(学童保育)の充実を図ります	平成26年度
									平成27年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	71,873	
本年度当初査定額	71,873	206,359

財源内訳	分担金及び負担金	県支出金					その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0					71,873	△71,873
本年度当初査定額	487	71,386					0	134,486

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公立学童保育所(25か所)においては、指定管理者制度を導入し、適切な保育を提供します。</li> <li>民間学童保育所(5か所)に対し、委託料を支出します。</li> </ul>	<p>(事業の目的) 保護者が就労していたり、病気などの理由により放課後保育に欠ける小学校の児童に対し、適切な遊びの場や生活の場を提供し、その健全育成を図ると共に、共働き家庭に対する支援を図ります。</p>	<p>(事業の効果) 仕事と子育ての両立を支援することにより、少子化対策に寄与することが期待できます。</p>
<p>(事業実施上の問題点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入所児童数の増加に伴う備品・消耗品の著しい不足や一部の学童保育所の過密状態を解消する必要がある。</li> <li>児童インストラクターの研修を実施し、保育内容の充実を図る。</li> </ul>	<p>(前年度からの見直し点)</p> <p>指定管理者制度へ移行</p>	<p>(見積りに関する特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	90	40	50
11	816	3,894	△3,078
13	203,964	26,153	177,811
14	639	486	153
18	850	1,100	△250

款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額	
特定財源	12	01	01	03	08	00	学童保育保護者負担金(滞納繰越分)	487	487	0	487
	12	01	01	03	95	00	学童保育保護者負担金	0	0	62,080	△62,080
	12	01	01	03	98	97	学童保育一時利用現年度分	0	0	282	△282
	15	02	02	03	03	00	放課後児童健全育成事業費補助金	71,006	71,006	65,616	5,390
	15	02	02	03	04	00	小規模放課後児童クラブ事業費補助金	380	380	1,140	△760
差引一般財源							△71,873	134,486	△129,118	263,604	